



2016 Kashin Disclosure

かしんディスクロージャー

鹿児島信用金庫



ごあいさつ

皆さんには、平素より鹿児島信用金庫に格別のお引き立てをいただき、誠にありがとうございます。日頃のご愛顧とご支援を心から感謝申し上げます。

ここに第94期業務概況と決算をとりまとめた「2016 かしんディスクロージャー」を作成いたしました。ご高覧賜り、当金庫へのご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

さて、昨年度の日本経済は、上半期の円安等の影響もあり企業収益が底堅く推移したものの、個人消費の伸び悩みや新興国経済の減速を受けた輸出の停滞等により一進一退で推移しました。

一方、県内景況は、雇用環境の改善に伴い個人消費や住宅関連産業に持ち直しの動きがみられ、また、観光関連も「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産登録や国民文化祭の開催等が追い風となり、緩やかな回復の兆しが見られました。しかしながら、足元では「平成28年熊本地震」による県内経済への多方面にわたる影響が懸念されるところです。

こうしたなか、当金庫は、地域密着型金融の継続的な推進に取り組み、地域や取引先の様々な課題解決に向けた活動に努めてまいりました結果、一定の最終利益を確保し、不良債権比率の低下により財務内容の改善が図られるなど、順調な業績を収めることができました。皆さま方のこの1年間のご支援に厚く感謝申し上げます。

平成28年度は、27年4月に策定しました中期計画「かしん 未来への挑戦」の2年目として、独自性発揮による地域の成長と価値創生を目指すとともに、地域金融機関に求められる課題にタイムリーに対応し、地域に根差した強固な金融機関として地域経済の活性化、持続的な発展に向け役職員一同全力を尽くしてまいります。

皆さま方におかれましては、何卒、今後とも一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願ひ申し上げます。

平成28年7月

理事長 後藤 孝行



コーポレートマーク



C O N T E N T S

ごあいさつ	1
当金庫の概要	2
役員	3
組織図	4
信用金庫のしくみについて	5
27年度の事業概況	7
中小企業の経営の改善及び 地域の活性化のための取組みの状況	9
内部統制システムについて	17
リスク管理体制	20
コンプライアンス態勢について	21
金融ADR制度への対応	24
一年のあゆみ	29
業務内容	31
店舗一覧	35
信金中央金庫のご案内	38
資料編	40

当金庫の概要

本店所在地	鹿児島市名山町1番23号
創立	大正11年10月1日
会員数	45,289人
出資金	40億10百万円
預金	3,003億円
貸出金	1,952億円
店舗数	44ヶ店(代理店含む)
常勤役職員数	422人

(平成28年3月31日現在)



左から(竹原常務理事、中俣専務理事、後藤理事長、原薗常務理事)

役 員

(平成28年6月21日現在)

■理 事 長 後 藤 孝 行	■常勤理事(業務統括部地域創生担当) 西 哲 郎	■理事(相談役) 岩 男 秀 彦	■監 事 上 川 路 長 生
■専務理事 中 俣 義 公	■常勤理事(本店営業部長) 栗 田 広 次	■理事 近 藤 健	■監 事 東 條 正 博
■常務理事 原 薗 勉	■常勤理事(監査部長) 石 神 秀 幸	■理 事 小 正 芳 史	■監 事 岩 重 武
■常務理事(融資部長) 竹 原 肅	■常勤理事(総合企画部長) 市 川 博 海	■常勤監事 武 田 文 昭	

※理事 岩男秀彦、近藤健、小正芳史は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。
※監事 東條正博、岩重武は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

經營理念

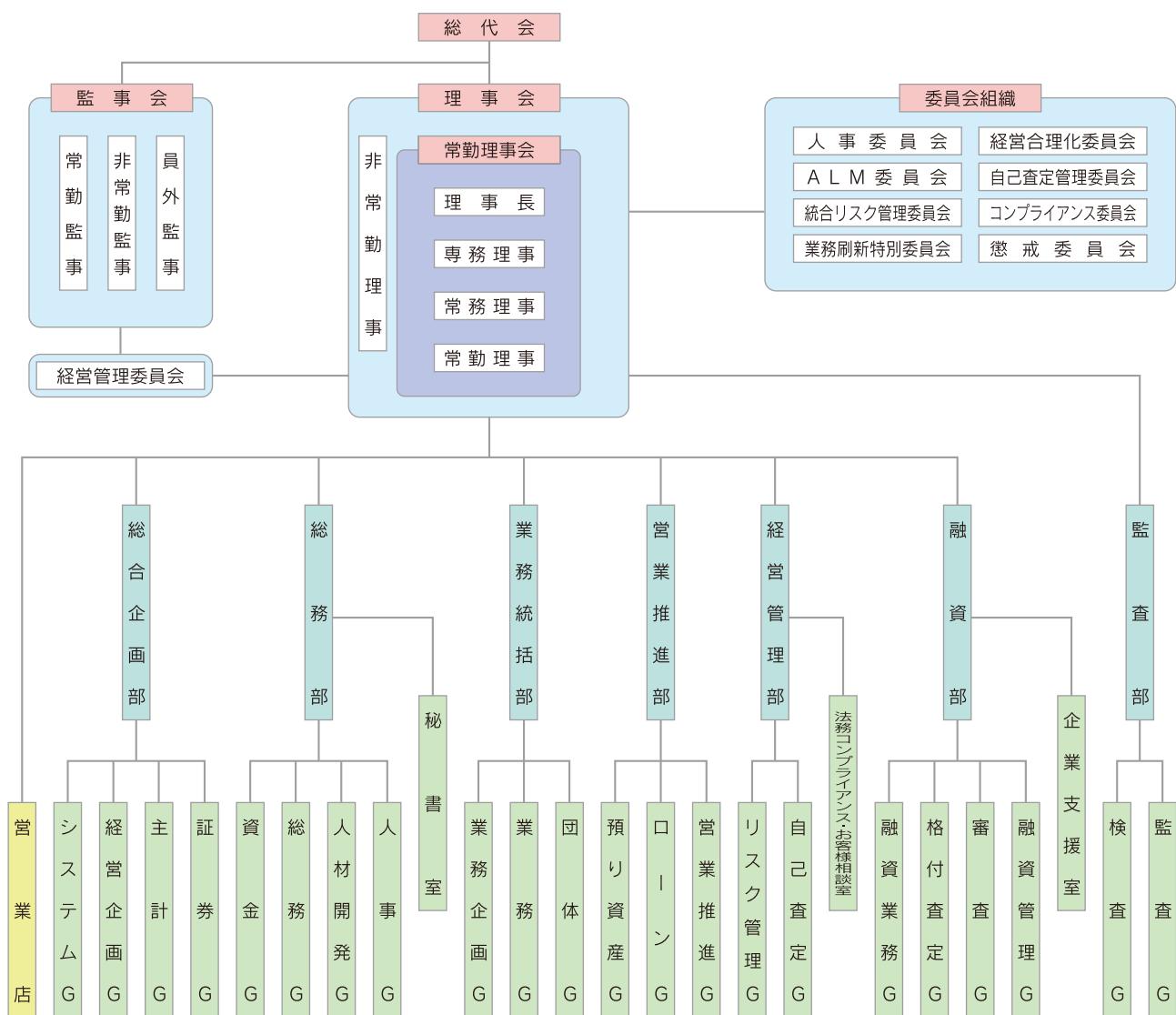
中小企業の健全な発展と地域社会の繁栄のため地域金融機関として密接な関係づくりに努めるとともに、経営活動を最大限に効率化し、いかなる環境変化にも耐え得る経営体質をつくりあげ、お客様の総合的パートナーとして、また地域文化の発展に役立つ金融機関として皆様とともに成長・発展を目指します。

基本方針

- 我々は地域経済の伸展に寄与する。
 - 我々は中小企業者へ奉仕する。
 - 我々は金庫の健全経営に協力する。
 - 我々は自己の職責を誠実に果たす。
 - 我々はお互いの資質向上に努める。

組織図

(平成28年2月1日現在)



信用金庫のしくみについて

総代会制度について

1 総代会とはどういうものなのでしょう

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員1人1人の意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では会員数が大変多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は総会と同様に、会員1人1人の意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続により選任された総代により運営されております。

また、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善にも積極的に取り組んでおります。

なお、当金庫では、総代会の機能強化に向け自主的な取組みを一層推進してまいります。

総代会は、会員1人1人の意見を適正に反映するための開かれた制度です



2 総代とその選任方法(当金庫 定款24条～30条 及び 総代会選任規程)

(1) 総代の任期・定数

- ・総代の任期は3年です。
- ・総代の定数は150人以上180人以下で、各選任区域の定数は、その区域の会員数に応じて定められています。

平成28年3月31日現在

選任区域	会員数			主な営業区域
	法人	個人	合計	
1区	3,896	17,656	21,552	鹿児島市内
2区	485	3,335	3,820	加治木支店・蒲生支店・姶良支店
3区	372	2,140	2,512	鹿屋支店・寿支店・志布志支店
4区	525	2,476	3,001	国分支店・隼人支店
5区	207	1,263	1,470	指宿支店
6区	983	4,762	5,745	串木野支店・湯之元支店・伊集院支店・高尾野支店 市来出張所・出水支店・川内支店・阿久根支店
7区	179	1,259	1,438	大口支店
8区	236	1,716	1,952	栗野支店・牧園支店
9区	365	2,249	2,614	枕崎支店・加世田支店・知覧支店
10区	155	1,030	1,185	宮之城支店
合計	7,403	37,886	45,289	

(2) 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。

そこで総代の選考は、次の3つの手続きを経て選任されます。

- ①会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- ②その総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- ③その総代候補者を会員が信任する(異議があれば申し立てる)。

(3) 総代の選考基準

- | | |
|-------|---|
| ①資格要件 | ・当金庫の会員であること |
| ②適格要件 | <ul style="list-style-type: none"> ・総代として相応しい見識を有していること ・良識をもって正しい判断ができる人であること ・地域における信望が高く、総代として相応しい人であること ・人格、見識に優れ、当金庫の発展に寄与できる方 ・金庫の理念・使命をよく理解し、金庫との緊密な取引関係を有する方 |

【第94期通常総代会】

第94期通常総代会が、6月21日(火)「かしんアイホールビル」6階ホール(鹿児島信用金庫高見馬場支店)において開催されました。

総代総数150名中139名出席のもと以下の議題が附議され、賛成多数で可決されましたことをご報告いたします。

- 【報 告】業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件
- 【議案第1号】剰余金処分案承認に関する件
- 【議案第2号】会員除名に関する件
- 【議案第3号】監事の任期満了に伴う選任の件
- 【議案第4号】理事補充の件
- 【議案第5号】退任理事に対し退職慰労引当金贈呈の件



鹿児島信用金庫総代名

(平成28年6月30日現在 総代数150名 本誌掲載総代数150名)

記載の方々が当金庫の総代として、会員の方々を代表して当金庫の経営に参加されております。

※ここに記載してあります総代の方々には、個人情報の第三者への開示について事前に同意をいただいたて、公表しております。

第1区	第2区	第3区	第4区	第5区	第6区	第7区	第8区	第9区	第10区
長 島 和 實 ⑩	森 山 清 隆 ②	藤 井 清 弘 ⑥	中 俣 知 裕 大 ①						
野 田 健 太 郎 ⑨	時 任 克 暢 ⑯	小 木 下 博 司 ⑯	白 坂 行 ⑯						
卓 間 兼 二 郎 ⑨	山 之 内 浩 明 ②	有 村 信 一 ⑧	吉 淵 広 文 ⑤						
小 宮 正 弘 ⑨	神 村 茂 廣 ①	吉 村 博 文 ⑥	淵 内 利 文 ⑤						
原 敏 孝 ⑦	永 田 浩 二 ⑥	三 井 清 隆 ②	山 重 盛 昌 一 郎 ③						
松 堀 敏 孝 ⑦	中 園 功 一 ⑤	瀬 島 從 道 ⑤	岸 本 哉 ③						
山 切 博 ⑥	高 山 博 行 ③	瀬 島 清 秀 ③	重 岸 博 人 ①						
駒 生 一 雄 ⑨	窪 田 茂 ②	瀬 島 伸 郎 ⑩	岸 本 敏 治 ①						
森 重 匡 世 ⑤	中 村 純 ①	牧 安 伸 ⑧	村 邦 美 ③						
松 吉 允 ⑤	田 實 大 志 朗 ⑦	坂 元 幸 一 ②	佐 々 木 広 ③						
川 田 明 介 ②	福 元 達 男 ⑧	内 大 久 保 清 志 ③	津 田 和 亨 ①						
田 畑 秀 和 ④	前 田 幸 一 ②	村 友 一 郎 ④	末 吉 忠 己 ①						
木 田 勇 ③	高 橋 晴 彦 ⑦	大 坂 幸 一 ②	中 村 勝 信 ③						
木 田 康 正 ③	赤 塚 純 隆 ⑤	童 照 幸 ②	堀 之内 茂 ①						
木 井 銀 二 郎 ②	大 迫 虎 次 郎 ⑬	犬 村 幸 雄 ⑥	南 荒 生 周 ①						
岩 元 成 五 ②	成 尾 黒 次 郎 ⑬	正 隈 衛 ⑨	後 迫 芳 周 ①						
上 拾 石 秀 一 ②	五十嵐 芳 明 ①	隈 黒 公 博 ⑤	瀉 部 嘉 ト ⑭						
岩 男 直 哉 ①	吉 留 貴 ①	木 重 堅 司 ②	部 夷 麗 ⑨						
吉 健 朗 ①	川 田 康 勝 ⑥	永 野 貞 行 ⑤	慶 隆 ⑩						
小 福 田 上 千 寅 ③	田 寺 千 寅 ③	田 中 瞿 嗣 ①	松 光 ⑨						
橋 田 千 寅 ③	村 寅 ③	黒 田 忠 ⑨	泰 元 ⑥						
西 佐 俊 一 ①	佐 牧 晴 一 郎 ⑤	池 田 清 ③	下 田 弘 ③						
鶴 鮎 政 博 ③	吉 満 秀 勝 ④	前 田 豊 ③	松 今 ③						
鮎 川 和 久 ①	坂 之上 義 紘 ④	田 貞 則 ⑯	松 尾 ③						
手 田 康 雄 ⑩	津 曲 善 良 ③	田 實 ⑯	原 泰 ③						
町 田 茂 ⑧	徳 田 美 ③	齊 藤 ⑯	く る み ③						
坂 片 啓 ⑧	元 楽 善 良 ③	有 藤 园 ⑯	前 平 ③						
新 上 守 ⑩	安 島 勉 ②	新 建 一 郎 ⑤	小 平 ③						
塘 一 郎 ⑧	中 島 修 ⑦	田 輝 明 ①	井 津 ③						
内 門 実 ④	前 田 孝 夫 ⑧	邦 志 ②	南 富 ③						
川 上 哲 ⑪	福 留 実 ④	木 博 ①	池 永 ③						
	櫻 井 輝 雄 ①	越 隆 史 ①	田 要 ③						
		和 臣 ③	宇 都 ①						

※氏名の後の数字は、総代への就任回数

〈総代の属性別構成比〉

※業種別の構成比は、法人・法人代表者、個人事業主に限る。

就任回数別	10期以上 10.7%	5期～10期末満 21.3%	1期～5期末満 68.0%
年 代 別	70代以上 37.3%	60代 46.7%	50代 13.3%
職 業 別	会社役員 89.3%	個人事業 8.7%	個人 2.0%
業 種 別	製造業 12.9%	建設業 29.3%	不動産業 2.7%

27年度の事業概況

1 事業方針

平成27年度は、新3カ年計画「かしん 未来への挑戦(平成27年4月1日～30年3月31日)」の初年度として、「支援力・営業基盤の強化」「経営力・内部態勢の強化」「組織力・人材力の強化」「つなぐ力・総合力の強化」を金庫全体の事業方針として掲げ事業に取り組んでまいりました。

2 金融経済環境

平成27年度の日本経済は、上期の円安等の影響もあり企業収益が底堅く推移したものの、個人消費の伸び悩みや新興国経済の減速を受けた輸出の停滞等により一進一退で推移しました。先行きの景気を展望すると円高の進行が下押し要因になるものの、金融緩和政策の継続や政府の「一億総活躍社会」に向けた経済政策の推進等により経済の好循環が進展し、設備投資や個人消費が緩やかに持ち直し回復基調を取り戻すと期待されています。

一方、県内の経済は、人口減少や国内経済の足踏み、設備投資の伸び悩み等により厳しさはあるものの、雇用環境の改善に伴い個人消費や住宅関連産業に持ち直しの動きがみられ、また、観光関連も「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産登録や国民文化祭の開催が追い風となり、緩やかな回復の兆しが見されました。

しかしながら、足元では「平成28年熊本地震」による県内経済への幅広い影響が予想され、これから地元企業の経営環境の悪化が危惧されるところです。

3 結果

当金庫は、国と地方が地方創生の実現に向けて「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に総力を挙げて取り組んでいる中、「地域創生・活性化」に積極的に参画したことや、事業性評価を重視した融資取り組みを積極的に行うなど、信用金庫の独自性・特性を活かした取り組みを通じて、地域や取引先の様々な課題を解決することに向けた活動を実践したことにより、当期末における貸出金残高は前期に比べ13億72百万円増加し、1,952億88百万円となりました。また、営業基盤の強化にも取り組み預金残高は前期に比べ31億17百万円増加し、3,003億91百万円となりました。

収益面では、有価証券等の余資運用収益の増加や経費の抑制等により、業務純益は前期に比べ1億57百万円増加し19億19百万円となったものの、事業再生に伴う不良債権等の削減に向けて積極的に取り組んだ結果、経常利益は前期に比べ1億81百万円減少し6億4百万円、当期利益は前期に比べ2億52百万円減少し、3億91百万円となりました。なお、不良債権比率は前期比0.66ポイント改善し4.61%となりました。

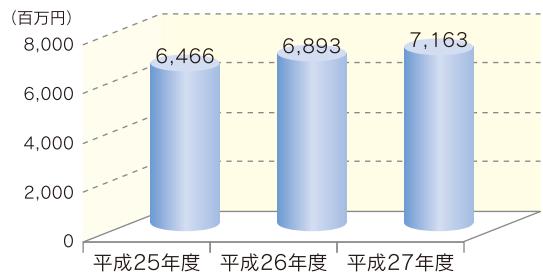
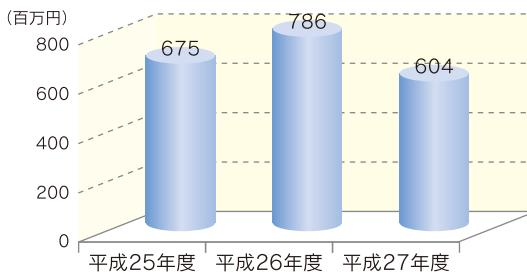
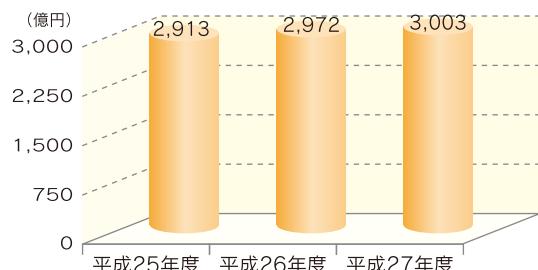
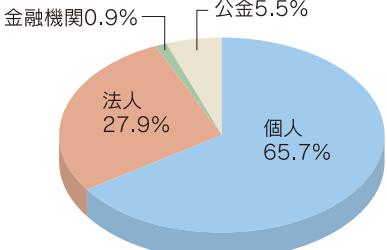
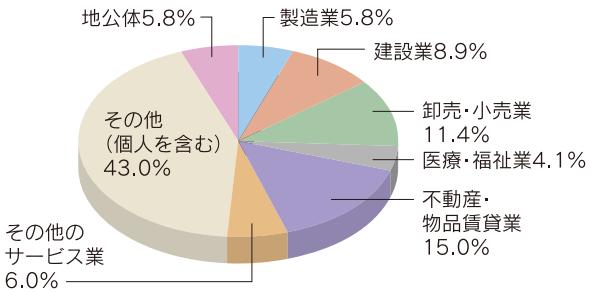
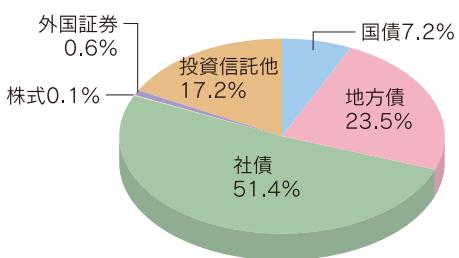
4 事業の展望及び当庫が対処すべき課題

迎える平成28年度は、日本銀行が導入した「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の貸出金環境に及ぼす影響が懸念されるものの、政府が「一億総活躍社会」実現のために打ち出した新・三本の矢「①希望を生み出す強い経済 ②夢をつむぐ子育て支援 ③安心につながる社会保障」により、「成長と分配の好循環」が形成され、経済成長を後押しすると期待されております。

鹿児島県内においては、個人や企業ともに先行きへの不安感が拭えない状況にあるものの、新・三本の矢や平成28年度から本格的に始動する「地方創生」の関連施策等により、緩やかな景気回復が期待されています。

このような環境の中、当金庫は、信用金庫の大きな使命である地域社会への貢献のために、地域金融機関に求められる課題にタイムリーに対応し、地域経済の発展に全力で取り組んでまいります。

また、28年度は27年4月からスタートした新3カ年計画の2年目として、独自性発揮による地域の成長と価値創生を目指し、地域に根差した強固な金融機関として地域経済の活性化、持続的な発展にさらに役職員一同全力を尽くしてまいります。

■経常収益**■経常利益****■当期純利益****■自己資本比率****■預金積金残高****■預金残高全体に占める預金者別割合****■貸出金残高****■貸出金残高の業種別比率****■有価証券残高****■有価証券残高の内訳別比率**

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況

かしんの杜

「つなぐ力の発揮」 かしんの地域貢献活動

地域の活性化を図るため、鹿児島信用金庫の地域貢献として「かしんの杜」(かしん総合人材育成構想)活動を行っております。

かしんの杜

① 経営の杜

- ①かしん経営大学
- ②かしんビジネスチャレンジプラザ
- ③かしんトップマネージメント大学
- ④かしん経営者フォーラム
- ⑤かしん経営相談室

② 音楽の杜

- ①チャリティー演奏会
- ②各種ミニコンサート
- ③南日本音楽コンクール協賛

③ 教育の杜

- ①かしんアイホールセミナー
- ②硬筆コンクール協賛

④ スポーツの杜

- ①かしんカップ少年サッカー大会
- ②かしん旗少年剣道大会
- ③各種スポーツ大会主催

⑤ 緑の杜

- ①植樹による「かしんの森」活動
- ②各種エコ活動

⑥ その他

- ①各地域での清掃活動
- ②献血活動

① 経営の杜

①かしん経営大学

～地方創生の取組みは第2ステップへ～

平成28年5月14日に「第20期 かしん経営大学」を開講しました。当大学は、経営戦略や企業発展を目指すための勉強を目的として、平成8年に開校した1年間で集中して学べるスクール形式の講座です。

平成27年度は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にかかる取り組みとして「かしん経営大学公開講座」を県内8ヵ所で実施し、経営大学で蓄積されたアイデアをもとに、各自治体・地域住民に向けて具体的プロジェクトの提案を行いました。

平成28年度は、本大学が記念すべき第20期を迎えたことを契機に、昨年の地方創生の取組みの第2ステップとして、産学官金より生徒を募集しました。第一回講義は、「信金中央金庫・しんきん地方創生支援センター及び「地方創生政策アイデアコンテスト」で表彰された大口明光学園から特別講師を招き開催しました。今後、国のビッグデータ「RESAS」を活用した地方創生事業を立案のうえ、「地方創生政策アイデアコンテスト2016」へ応募することを計画しています。



信金中央金庫
しんきん地方創生
支援センター
審議役 高田 真 様



ビッグデータ
(RESAS)を
活用した地域分析



大口明光学園
教諭 豊 景 様

②かしんビジネスチャレンジプラザ

「かしん経営大学」卒業生のフォローアップと県内中小零細企業活性化のための経営者育成並びに創業を支援し、多彩なビジネスを創造することで地域産業の成長に貢献することを目指しています。

かしんチャレンジマーケット in AMU広場

鹿児島中央駅AMU広場において、当金庫の顧客・経営大学の卒業生等を対象に、顧客との対面販売を通じた商品のPR販売や、従業員の「売る気と売る技術」を磨くとともに、顧客の反応を肌で感じていただくため、平成24年より実施しております(年間12回)。



アミュ広場 毎月開催



商談会への出展支援

～信用金庫のネットワークを活用した ビジネスマッチング支援～

全国の信用金庫のネットワークを通じて、お客様の「売りたい」「買いたい」などの取引機会に役立つ情報を提供しております。また、本県食品関連産業の振興を図るため、県内生産者・食品加工業者の方々を対象に、首都圏や県内外に向けて食品を紹介し、県内7金融機関で構成する「鹿児島アグリ＆フード金融協議会」の一員として、市場における販売ルートの開拓や販路拡大を目指す実践的な商談会を開催し、県外信用金庫の主催する商談会に参加するなどのビジネスマッチング支援を行っております。

平成27年度の主な商談会

平成27年 9月 南の逸品商談会(東京都)

平成27年11月 かごしまの逸品プラッシュアップ商談会(鹿児島)

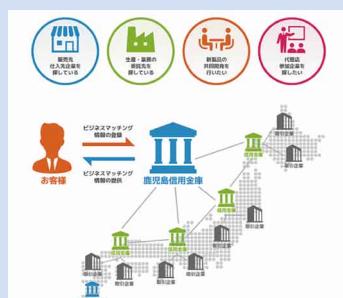
平成28年 1月 かごしまの逸品商談会(鹿児島)

平成28年 3月 2016全国うまいもん発掘商談会(東京都 城南信用金庫主催)



信用金庫のネットワークを活用したビジネスマッチング情報の提供

平成27年度 全国89社の情報を提供



かしんの杜

① 経営の杜

③ かしんトップマネージメント大学

お取引先法人企業経営者の人材育成および企業の業績を向上させるとともに、地域経済の浮揚を図ることを目的として、「かしんトップマネージメント大学」を平成22年から開講しております。

本大学では、法人企業の経営者および後継者、役員、部課長などの経営幹部を対象とし、税理士や中小企業診断士等の講師が、主に経営戦略・経営課題・財務分析を専門的に、またわかりやすく講義しています。



税理士法人 さくら優和パートナーズ
会長 岩元 耕児 様



株式会社 アセットパートナーズ南九州
代表取締役社長 萩原 徹 様

④ かしん経営者フォーラム

参加企業の成長・発展と人材育成を目的として、大いなる事業繁栄と地域の活性化を目指し、平成25年7月に「かしん経営者フォーラム」を開講いたしました。県内企業の若手経営者、経営幹部、後継者の方々を対象に、各界講師による経済・経営・財務・マーケティング・人事・労務などの様々な経営に関する勉強を行っています。

第3期(平成27年6月～)

は県内外で活躍する経営者を講師に招き、実際活躍されている経営者の経営哲学を鹿児島県の経済発展を担う次世代の経営者の方々へ伝える形式となっています。



鹿児島県商店街振興組合連合会
理事長 河井 達志 様



株式会社 マコセエージェンシー
代表取締役社長 五十嵐 芳明 様



株式会社 吉野家ホールディングス
会長 安部 修仁 様

⑤ かしん経営相談室

当金庫は、地域創生・活性化の支援と取引先の経営力強化のため、外部専門機関等と連携し、「かしん経営相談室」を無料で開設しております。経営についてお悩みの方は、ぜひご相談ください。

- 日時：随時
- 会場：かしんアイホールビル2階、お取引営業店
- 対象：当金庫取引先の法人企業経営者、個人事業者及び創業予定者
- 相談：予約制とし、事前に経営相談申込書を頂いたうえでご相談に応じます。
(1回の相談時間：原則2時間)

内 容

- ① 経営全般の相談
- ② 創業・新事業相談
- ③ 相続・事業承継相談
- ④ 税務相談
- ⑤ その他

相談員

- 株式会社
アセットパートナーズ南九州
税理士法人
さくら優和パートナーズ



② 音楽の杜

【第30回国民文化祭・かごしま2015への協力】

平成27年10月31日から11月15日まで、国内最大級の文化イベントである「第30回国民文化祭・かごしま2015」が開催されました。当金庫は、オフィシャルスポンサーとして国民文化祭事業に積極的に協力しました。

① 吹奏楽の祭典

平成27年11月3日、国民文化祭事業の中でも最大規模のイベントである「吹奏楽の祭典」に当金庫吹奏楽部が出演し、「精華女子高等学校 吹奏楽部」、「ブリヂストン吹奏楽団」などの全国でも有数の吹奏楽の団体と共に演じました。

また、当日は「おはら祭」も開催され、第1回目から音楽パレードに参加している当金庫吹奏楽部は、「吹奏楽の祭典」出演後、「おはら祭」への参加も実現できました。



② チェスト行け! 提案事業

国民文化祭事業においては、県民総参加の国民文化祭の実現に向け、各文化団体・NPO法人等が企画した「チェスト行け! 提案事業」44事業も同時に開催され、当金庫は提案事業の一つである「第5回アロハハワイアンフェスティバルin Kagoshima」に協賛、当金庫職員がボランティアスタッフとして参加し、吹奏楽部も賛助出演いたしました。



③ かしんコンサート in みなみホール

平成27年11月7日、南日本新聞社みなみホールにて「かしんコンサートinみなみホール～ハワイアンとプラスのひととき」を開催しました。国民文化祭開催期間中であり、当金庫の音楽の杜事業として国民文化祭を盛り上げるべく、例年のチャリティー演奏会と趣向を変えたコンサートを開催しました。

ギターのソロ演奏やハワイアンバンド、舞台転換時のマジックショーなどバラエティーに富んだ内容となり、当金庫吹奏楽部も7チームによるアンサンブルを披露。いつものフルバンドとは一味異なる演奏で来場された皆様を楽しませていました。当日、来場された皆様から寄せられた募金は、全額「みどりの基金」へ寄付いたしました。皆様の善意に深く感謝申し上げます。



④ 南日本音楽コンクール協賛

平成27年12月6日、当金庫が特別協賛している「第64回南日本音楽コンクール」のグランプリ選考会および表彰式が行われ、鹿児島信用金庫賞は木管部門から出場した大学生の方が受賞されました。本コンクールの歴史は半世紀以上におよび、ピアノ、管打楽、木管、金管、声楽、作曲の7部門に対して、参加者は小学生から大学生・一般と幅広く、県内の若手音楽家の登竜門として大きな期待を抱っています。創部80年の吹奏楽部を持つ当金庫は、鹿児島の音楽文化発展のため、本コンクールに特別協賛として協力しています。



かしんの杜

③教育の杜

①かしんアイホールセミナー

当金庫は、皆様の暮らしに役立てていただくことを目的として、年金・医療分野など国内情勢に応じた身近なテーマで、平成23年から「かしんアイホールセミナー」を定期開催しております。

平成27年度は、元KTSアナウンサー中村朋美様による高校生・新社会人を対象とした「ビジネスマナー&コミュニケーション力」、マイナンバー制度の開始にむけた「事業者向けマイナンバー対策」などのテーマで開催いたしました。今後も多くの方が興味をもたれる分野をテーマにアイホールセミナーを開催していきます。



②硬筆コンクール協賛

平成27年8月2日、当金庫が特別協賛している「第26回KKB硬筆コンクール」の表彰式が開催されました。当コンクールは、文字を正しく、整えて、丁寧に書くことを大切にする心を育み、文字文化の振興と発展に寄与することを目的としており、当金庫も「教育の杜」事業として協力しています。

今回は、県内外の学校や書道教室等から5,400点を超える応募があり、出展者の日々の研鑽と指導者の熱意が強く感じられる作品ばかりでした。表彰式では、4名の方々が鹿児島信用金庫賞を受賞されました。



④スポーツの杜

①かしんカップ少年サッカー大会

サッカーを通じて各チームの相互の親睦と少年の健全育成を図り、あわせてサッカーの普及ならびに技術の向上を目的として、平成18年から「かしんカップ少年サッカー大会」を開催しております。

平成28年3月12・13日、鹿児島県立吹上浜海浜公園において第10回目となる記念大会を開催しました。今大会には68チーム約1,000名の小学生が参加し、熱戦が繰り広げられました。また、「ママさんPK大会」も実施され、応援に来られたお母様方も子供たちに負けない盛り上がりを見せていました。

今大会でも昨年に引き続き「エコキヤップ運動」を実施し、ペットボトルキャップ約60万個が参加者の協力で集められ、世界の子供たちへ感染症のワクチン代として寄付いたしました。



②かしん旗少年剣道大会

剣道を修習する青少年の気力・体力・技術の向上を図り、相互の親睦を深め、将来の郷土を担う青少年の健全育成を目的に平成24年から「かしん旗少年剣道大会」を開催しております。

平成27年11月15日、伊集院町総合体育館において第4回大会を開催し、小学生を中心に63チーム、380名の少年剣士が集い、真剣なまなざしで元気いっぱいの試合を繰り広げました。本大会の初開催から4年目を迎え、大会規模も拡大され、「かしん旗」という冠杯として県下一円に浸透しつつあります。

今後も、剣道を通じて地域貢献や青少年の健全育成の一助となるよう努めていきます。



⑤ 緑の杜

当金庫では「みどり豊かな郷土」を次世代に引き継いでいくために、森林づくりや、環境緑化に取り組んでいます。「緑の杜」事業の一環として、「公益財団法人かごしまみどりの基金」へ寄付を行い、鹿児島県の森林整備に役立てていただいております。また、平成28年4月29日に開催された「みどりの感謝祭」において、森林整備に取り組んでいる企業として感謝状をいただき、当金庫職員と家族による森林づくり活動も同時に実施いたしました。



お取引先とのつながりについて

かしんハッピーカンパニー

当金庫では、早くからお取引先との組織作りに力を入れております。

昭和38年11月、鹿児島信用金庫本店新築前に若手経営者の有志22名が将来の鹿児島の中核となるべく、また、当金庫の強力な推進母体となるべく、お互いの研鑽努力を誓いあって「かしんハッピーカンパニー」をスタートしました。その後、会員数も増加し、「会員の資質向上を図る場」「異業種交流の場」「会員相互間の親睦と連携を深める場」として全営業店単位で組織化、平成25年11月には設立50周年を迎え、現在は1,400名を超える会員で活動を行っております。また、講演会では毎回600名を超える参加者のもと、各界の著名な講師陣による講演会を開催しており、皆さまから好評をいただいております。



最近の講師陣

- 俳優／榎木孝明 氏
- 奄美パーク園長／宮崎緑 氏
- 野球解説者・スポーツコメンテーター／広澤克実 氏
- 志學館大学教授／原口泉 氏
- 大相撲行司／第36代 木村庄之助 氏
- 経済評論家／三橋貴明 氏
- 落語家／三笑亭夢之助 氏
- 政治ジャーナリスト／後藤謙次 氏

目的

- ・会員の資質向上・福祉の増進及び会員相互の親睦と友愛強調を図り、事業の健全経営を図る。
- ・金庫の事業進展に積極的に協力する。

活動内容

- ・各界講師・金庫役員等による講演会
- ・会員相互並びに金庫との情報交換や懇談会
- ・経営幹部のための諸研修会の開催
- ・ビジネスマッチング
- ・ゴルフコンペやその他の親睦会 など

当金庫は、これからも会員の皆様を大事にして、さらに育てていきたいと考えています。
是非、お近くの「かしん」までお問い合わせください。

KYC(鹿児島信用金庫青年クラブ)

次世代を担う若手経営者が、これから学びかつ進むべき道をお互いの連携の中で求め、鹿児島に寄与することをスローガンとして昭和49年に発足した異業種交流会であり、原則として50歳未満の会員をもって構成されています。

主な活動内容としては、例会、ボランティア活動、講演会、視察旅行、宿泊交流会等で会員自身による自主的な計画のもとで活動しています。



「まち・ひと・しごと」地方創生の取組み

平成26年12月27日、日本の人口の現状と将来の姿を示し、今後5カ年の政策目標や施策の基本的な方向、具体的な施策を取りまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が公表されました。総合戦略の策定については、金融機関の持つ知見等を生かした積極的な関与が求められていることから、当金庫は平成27年2月に「地域創生・活性化委員会」を立ち上げました。

○地方創生に向けた当金庫の取組み実績

地方版総合戦略の策定において、霧島市、姶良市、指宿市、阿久根市、枕崎市、湧水町、さつま町の県内自治体につきましては、当金庫職員が外部有識者の委員となり、戦略策定に積極的に参画致しました。その他の自治体につきましても、当金庫の支店所在地におきましては積極的に協力いたしました。また、地方創生の取り組みの一環として、平成27年度は県内8ヵ所で「かしん経営大学公開講座」を開催し、地方創生についての理解を深め、総合戦略策定のきっかけづくりを行いました。

平成28年度は、「RESAS」(ビッグデータ)を活用して地域の分析を行い、各地域の市町村職員と地域住民が一体となり、地方創生に向けた具体的な事業計画を立案することを目指して「第20期かしん経営大学」を開講しています。

○地方自治体との協定締結

現在、各自治体は、地方創生事業において空き家対策事業に積極的に取り組んでおり、当金庫も地方自治体の空き家対策事業を支援する為ため、各地方自治体と業務連携協定を締結し、「かしん無担保住宅ローン」、「空き家支援ローン」など、空き家解体費用や空き家のリフォーム費用に利用できる商品を充実することで積極的に支援を行っています。

地方自治体との協定締結状況

- | | |
|---|--|
| ①平成27年11月24日
霧島市と「空き家対策事業に関わる業務連携協定」締結 | ⑤平成28年4月12日
姶良市と「空き家対策事業に関わる業務連携協定」締結 |
| ②平成27年11月25日
伊佐市と「空き家対策事業に関わる業務連携協定」締結 | ⑥平成28年4月20日
南さつま市と「空き家対策事業に関わる業務連携協定」締結 |
| ③平成28年2月9日
志布志市と「空き家対策事業に関わる業務連携協定」締結 | ⑦平成28年5月2日
鹿児島市と「空き家対策事業の推進に関する覚書」締結 |
| ④平成28年4月4日
日置市と「空き家対策事業に関わる業務連携協定」締結 | ⑧平成27年12月3日
南九州市と「地方創生に関する包括協定」締結 |



また、平成28年2月19日には、鹿児島県内の中小企業・小規模事業者に対する支援を相互に連携・協力するため、公益財団法人「かごしま産業支援センター」と「業務連携・協力に関する覚書」を締結いたしました。

地域金融円滑化のための基本方針

地域の中小企業及び個人のお客様に必要な資金を安定的に供給し、地域経済の発展に寄与するため、以下の方針に基づき、地域金融の円滑化に全力を傾注して取り組んでまいります。

1 取組方針

地域の中小企業および個人のお客様への安定した資金供給は、事業地域が限定された協同組織金融機関である信用金庫にとって、最も重要な社会的使命です。

私どもは、お客様からの資金需要や貸付条件の変更等のお申込みがあった場合には、これまでと同様、お客様の抱えている問題を十分に把握したうえで、その解決に向けて真摯に取り組みます。

2 金融円滑化の実施に向けた態勢整備

当金庫は、上記取組み方針を適切に実施するため、以下のとおり、必要な態勢、整備を図っております。

- ①当金庫では、お客様のご要望に応えるよう真摯に対応いたします。
- ②当金庫では、お客様の経営相談・経営指導・経営改善に向け積極的に支援いたします。
- ③当金庫では、金融円滑化管理方針及び同規程を策定しております。
- ④当金庫では、金融円滑化管理全般を統括する部門を設置しております。
- ⑤当金庫では、金融円滑化管理に関する担当役員等責任者を配置しております。

3 他の金融機関等との緊密な連携

当金庫は、複数の金融機関から借入れを行っているお客様から貸付条件の変更等の申し出があった場合など、他の金融機関や信用保証協会等と緊密な連携を図る必要が生じたときは、守秘義務に留意しつつ、お客様の同意を得たうえで、これらの関係機関と情報の確認・照会を行うなど、緊密な連携を図りながら地域金融の円滑化に努めてまいります。

●平成27年度 経営改善支援等の取り組み実績

(単位:先数)

	期初 債務者数						経営改善支援 取組み率 B/A	ランクアップ 率 C/B	再生計画 策定率 E/B
		A	B	C	D	E			
正常先 ①	2,608	1		1	0	0.0%		—	
要注意先 ②	471	139	12	120	57	29.5%	8.6%	41.0%	
うち要管理先 ③	22	22	0	20	15	100.0%	—	68.2%	
破綻懸念先 ④	91	37	2	31	27	40.7%	5.4%	73.0%	
実質破綻先 ⑤	37	0	0	0	0	—	—	—	
破綻先 ⑥	9	0	0	0	0	—	—	—	
小計 (②～⑥の計)	630	198	14	171	99	31.4%	7.1%	50.0%	
合計	3,238	199	14	172	99	6.1%	7.0%	49.7%	

(注)・期初債務者数及び債務者区分は27年4月当初時点を整理しています。

- ・債務者数・経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。
- ・Cには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はBに含めるもののCに含めていません。
- ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はCに含めています。
- ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しています。
- ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めていません。
- ・Dには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。
- ・みなしおよび正常先については正常先の債務者数に計上しています。
- ・「Bのうち再生計画を策定している全ての先数 E」には、当金庫独自の再生計画策定先のほか、中小企業支援協議会、RCC、地域経済活性化支援機構、産業復興機構、東日本大震災事業者再生支援機構などと連携した再生計画策定先を含みます。